

— 確かな技術と豊かな経験で皆様からの信頼に応えます —

株式会社 中央技術コンサルタンツ



所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1
 TEL：03-3367-5681
 FAX：03-3367-5684
 URL：http://www.cec-hp.co.jp
 従業員：97名
 設立年：昭和40年10月
 代表者：代表取締役 甲斐琴子



集合写真



馬見原橋（鋼変形フィレンデル橋）熊本県



鮎の瀬大橋（3径間連続PC斜張橋）熊本県



新大橋（2径間連続鋼斜張橋）東京都



国史跡八王子城跡曳橋 東京都



水際緑地設計（豊洲）東京都



10号地耐震強化岸壁 東京都



隅田川厩橋上下流修景設計 東京都



橋梁保全事業



斜張橋ケーブル調査 東京都



水門設計 松合漁港 熊本県



大島漁港（漁港全体整備）長崎県



光明寺 東京都

会社概要

当社は昭和40年10月、東京都千代田区神田に総合建設コンサルタントとして設立され、現在は新宿区西新宿に本社を構えています。今年で創立52周年を迎え、北は東北・仙台から南は九州・鹿児島まで20の本支店でカバーし、一貫して官公庁の社会インフラ整備に貢献してまいりました。

分野は橋梁、道路、港湾、漁港、河川、都市計画から農業土木に至るまで多岐にわたり、誠意をもった顧客折衝、熱意をもった業務遂行、創意をもった技術向上をモットーに、高度な技術者集団として社員一丸となって業務に取り組んでおります。

当社の特色

当社の特色は、何といたってもこの種の業界では数少ない女性社長であるということです。12年前に創業者社長が急逝されて、公共事業への向かい風の世時とも重なり一時会社が苦しい時もありました。しかしSlimでSmileを絶やささない二代目『琴子社長』のもと、Speed感に満ちたSimpleな経営と社員たちの努力の結果、会社は見事に立ち直り、業績も順当に伸びております。

したがって当社員の現会社での在籍年数分布はワイ

ングラス型をしており、入社年次の若い社員が多数を占めております。しかし社員のキャリアは実にバラエティに富んでおり、いろいろなジャンルに強い個性豊かな社員が、固定観念でなく新しい視点から意見を出すことも多く、ある意味それが当社の強みとなっています。

これからは、業界内でも「きらりと光る中央技術」を目指していきます。

技術実績

当社の得意分野のひとつに橋梁設計があります。熊本県の鮎の瀬大橋（3径間連続PC斜張橋）は土木学会デザイン賞最優秀賞2002を受賞した美しい橋梁ですが、昨年の熊本地震でも被害はありませんでした。また、隅田川に架かる新大橋（2径間連続鋼斜張橋）や、変わったところでは熊本県の馬見原橋（鋼変形フィレンデル橋）も当社の作品です。

そのほか道路では環八の大鳥居交差点（東京都）の渋滞解消設計と、隅田川厩橋上下流（東京都）の修景設計が共に優秀業務表彰を受賞しています。

また当社の特徴ある分野として水産土木があります。九州・関西・東北の各漁港や天草・五島さらには伊豆諸島等の離島まで、調査整備計画はもとより、長寿命化や

機能保全計画まで幅広い実績があり、最近のある業界誌の建設コンサルタント分野別ランキングでは当部門で上位を占めました。

二度の震災

6年前の東日本大震災では、震災後まもなく一時閉鎖していた東北支店を再び立ち上げ復興業務に取り組みできました。福島県の除染支援業務等も継続的に手掛け、現在は東北地区で仙台支店を起点に5か所の支店・事務所を構えるに至りました。

昨年の熊本地震は、当社のルーツであり本社に次ぐ当社の拠点である九州支店（熊本）が被災するという衝撃的なものでした。幸い家族も含めて人命にかかわる被害はなかったものの、社員の自宅も大きな被害を受け、前例のない余震が続く中、家族と共に避難生活をしながらも、震災復興業務に全力で取り組みました。当社のルーツである熊本には多数の橋梁や漁港港湾施設の実績があり、それらの地震被害状況について社内調査隊を結成し調査しました。調査結果は報告書にまとめましたが、その中に熊本の社員全員の被災に関する所感があります。それを読み直すにつけ、災害は突然に起こり人間がそれをどう感じ瞬時にどう行動するかは千差

万別であることが分かります。そうした体験を踏まえて、当社の防災マニュアルは作成されました。

創業者の想い

当社の創業者『甲斐正武』はスーパーマリオを彷彿させる業界ではちょっとした有名人でした。しかしその容貌とは裏腹に技術屋魂のカタマリの人物でした。先代が残した【心のしおり（おのれを励ます言葉）】があります。

1. 技術と戦い技術に勝て
2. 社員幸福路線を確立せよ
3. 技術社員の向上をはかれ
4. 批判と自己批判を怠るな
5. 自己再生に努力せよ
6. 革新的思想、革新的活動

さらにこれに付随して実に93の心得が書かれています。これはまさしく経営者自らの戒めであるとともに、社員にとっても目指す道を示していると思います。先代の口癖であった「意志あるところに道あり」その想いを引き継ぎ、経営者も社員も心をひとつにして日夜業務に励んでおります。

（文：取締役コンサルタント事業部長 山下 克己）